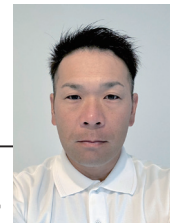
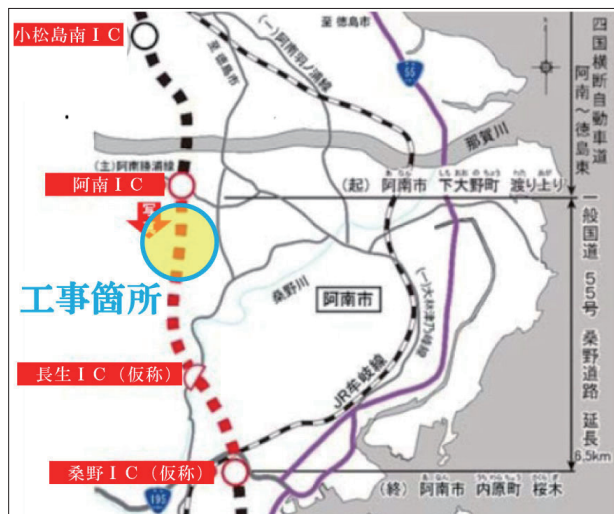


令和6年度 徳島河川国道事務所 工事等安全協議会 優秀賞受賞

令和5-6年度 桑野道路三倉高架橋下部 P10 外工事



佐々木建設株式会社 監理技術者 富山 修一



地域に安全安心と活力をもたらすものと期待されています。

2. 工事概要

本頁左下「工事概要」を参照。

3. 現場特性

当現場は阿南市立長生小学校の近くに位置しており、通勤・通学時間帯は隣接する道路

水管試運転までの決められた期間内で完了させる必要があります。

三倉川沿いには絶滅危惧IB類である「オグラコウホネ」が生育し、三倉川下流域の桑野川は漁業が盛んな地域であります。

これらのことを考慮し、下記の点に留意することが求められます。

- ◎工事用車両往来による道路利用者への負担軽減
- ◎架空線および耕作地への影響
- ◎三倉川への濁水などの流出防止

1. はじめに

一般国道55号【桑野道路】阿南IC～桑野IC（仮称）は、四国8の字ネットワークの一部を形成する延長約6.5kmの第1種第3級道路です。既に供用済みの四国縦貫自動車道や四国横断自動車道と接続し、四国東南部における広域ネットワークの形成、災害時の代替道路としての役割を担い、

の利用者が多い場所となります。また、市道沿いにはNTT 架空線があり、工事関係者に広く周知する必要があります。

現場は耕作地に囲まれた場所であり、稲作期での作業となるため、周囲の地権者や耕作者との密接なコミュニケーションが必要となります。稲作が終わり非出水期になると、現場を横断する三倉川の瀬替えを行います。これには、非出水期から翌年2月の送

4. 現場内における安全対策について（一部抜粋）

VRゴーグルを使った安全教育

安全教育では、VRゴーグル「LookCa」を使用して災害をリアルに体感し、事故の恐ろしさを改めて認識してもらいました。

これは、マンネリ化しがちな安全教育に対する新しい取り組みとして導入したものです。

発注者	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
工事名	令和5-6年度 桑野道路三倉高架橋下部 P10 外工事
工事場所	徳島県阿南市長生町三倉地先
工期	自 令和6年4月9日 至 令和6年12月20日
工事内容	橋脚躯体工 (コンクリート 440m ³) 鋼管ソイルセメント杭 (φ 1,500mm) 土留・仮締切工、仮棧橋工、 仮水路工

工事概要



安全教育訓練





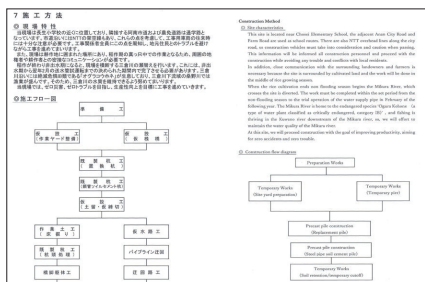
また、当社では維持工事も受注しており、本工事のみでなく維持工事の協力業者に対してもこのVR体験を通じた安全教育を実施しています。作業環境に応じた危険を疑似体験してもらうことで、危機意識の向上を図っています。

外国語を取り入れた作業手順書

最近では、外国からの技能実習生が多く活躍しており、様々な業種で見られるようになりました。

彼らの中には、日本語を流暢に話し、読み書きができる方もいれば、日本語の会話は少しできるが、読み書きが苦手な方もいるため、作業手順や安全事項の周知が不十分で、災害や事故につながる可能性もあります。

そこで当社では、技能実習生に対して作業手順を母国語に翻訳した資料を作成し、協力業者に事前にメールで送付しています。



作業手順書 (左: 翻訳前、右: 翻訳後)

また、新規入場の際には、当社外国人職員が再度確認を行い、作業所の安全注意事項を確実に周知する取り組みを行っています。

架空線接触事故防止対策

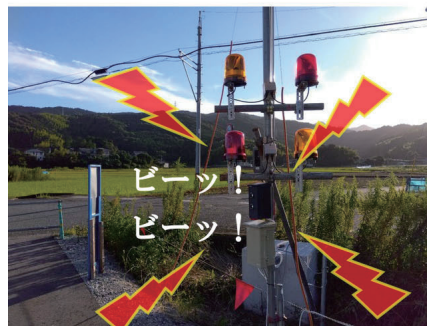
現在、三倉地区では当現場の工事用車両に加えて、トンネル工事で発生した土砂の受入れ作業も行っています。

当社では、安全教育を通じて自社の車両運転手に架空線接触事故の防止策を周知していますが、隣接する他業者の運転手までは、出入りする車両が多いため、すべての車両を管理することが難しいのが現状です。

そこで、当現場からの搬出時に事故防止対策を徹底するため、「架空線接触事故防止ゲート」を設置しました。このゲートは、ダンプトラックの荷台が降ろされていない場合や、クレーンが未格納のままの状態ではゲートを通過しようとすると、回転灯が点灯し、警報音が鳴る仕組みになっています。これにより、事故の未然防止を図っています。

5. おわりに

この度の受賞に際し、日頃より工事管理や監督をしていただいている皆様に心から感謝申し上げます。今回の受賞は、新技術を活用した安全設備の工夫もさることながら、作業員一人一人に安全教育を行った後、アンケートを取りまとめ、安全の基本を再確認する取り組みが評価され



架空線接触事故防止ゲート

たものと考えております。作業員一人一人が安全意識を再確認することで、現場全体の安全管理が向上することを感しました。

今後も生産性向上を念頭に置きつつ、新技術や建設DXを積極的に取り入れ、業界の発展に貢献していきたいと考えております。建設業がより明るく、魅力的な業界となるよう、これからも努力を続け、皆様と共に歩んでいけることを心より願っております。



安全、安心のクリエイト 佐々木建設株式会社

本社/徳島県阿波市吉野町柿原字原 167
 ☎ 088-696-3121 Fax 088-696-3034
 URL: <https://www.ssk-con.co.jp/>